

一級河川 笹目川における流域治水の推進について

笹目川の概要と近年の浸水被害状況

- さいたま市南区白幡を起点とし、戸田市早瀬で荒川に合流する延長5.1kmの一級河川
- 令和元年東日本台風では、荒川の水位上昇に伴う笹目水門の閉鎖、笹目川排水機場の排水能力を上回る洪水の発生により、笹目川の水位が上昇。戸田公園の戸田漕艇場に笹目川の洪水が流入し、浸水被害が発生
- また、笹目川流域のさくら川(市管理)沿いで道路冠水が発生



【東日本台風の浸水被害】
浸水面積 約2.3ha
床上・床下浸水 約170戸



笹目川の河川整備計画変更 (令和7年1月)

【河川整備の目標】

令和元年東日本台風における被害から再度災害防止を目指し、24時間雨量220mm程度の降雨により発生する洪水を安全に流下させる



【河川整備の実施に関する事項】

- 笹目川排水機場の排水能力向上 (現況30m³/s → 変更50m³/s)
- 戸田漕艇場への洪水の流入を防止するための樋門の設置

【参考】河川整備計画について

河川法に基づき、河川管理者が、概ね30年の河川整備の目標や河川整備の実施に関する事項を定める計画

一級河川 笹目川における流域治水の推進について

笹目川流域の特性と今後の方向性

笹目川流域は、低平な台地や低地の上に都市化が著しく進展しており、浸水リスクが高い地域となっている。



笹目川を特定都市河川に指定し、法的枠組みを活用して流域治水をより強力に推進する。

特定都市河川の指定

- 特定都市河川流域の河川管理者・流域市の長・下水道管理者が主体となり、流域水害対策計画を策定
- 流域水害対策計画に位置づけられた、河川整備や市町村等による雨水貯留浸透施設整備に対して予算の重点措置（国庫補助）
- 県条例に加え、法の雨水浸透阻害行為の許可により、民間事業者等による雨水貯留浸透施設の整備を促進



流域治水の計画・体制の強化

